

イベント	日時	場所
四熊地区運動会	10月4日(日)	四熊小学校
加見地区運動会	10月18日(日)	菊川中学校
下上地区運動会	10月25日(日)	菊川小学校
小畑秋まつり	11月1日(日)	小畑小学校
菊川まつり	11月15日(日)	菊川小学校



世帯数	3,211
人口	8,002
男	3,882
女	4,140

(8月末菊川の人口)

## 公民館文庫新刊情報

話題作「火花」が公民館文庫に登場！

# 菊川のひと 菊川探訪 笑顔リレー

秋の素材をつかったネイチャークラフト



**【夏祭り・盆踊り】**  
 昨年は台風の影響で中止を余儀なくされた下上地区・加見地区の夏祭り。今年も天候に恵まれ、無事に開催されました。下上地区の夏祭り関係者からは『今年は何が多い！』という嬉しい声も聞かれました。加見地区の夏祭りでは女性の力強い太鼓が披露され、途中から高校生が飛び入り参加する場面もありました。また四熊・小畑地区では盆踊りが開催され、お盆期間に帰郷した人たちで両会場共に大勢の人で賑わっていました。



**【学校へ泊まるこ】**  
 菊川地区子ども会主催の「学校へ泊まるこ」が開催されました。今年は学校での開催が難しく、会場を周南市須金地区にある大田原自然の家での開催となりました。猛暑が続く中、川遊びやカレー作りを楽しみました。  
 一泊二日の行事を終え、子供たちは一回り大きく成長した頼もしい表情で帰路についていました。関係者の皆様、忙しい中での準備など本当にありがとうございました！



**【夏休み子ども教室】**  
 今年も公民館で夏休み子ども教室を開催しました。恒例の「菊川寺子屋」をはじめとして、「テニススイーツ教室」「木工教室」「絵画教室」を開催しました。すべての教室が募集開始後すぐに定員に達しました。特に寺子屋は一日平均50人を超え、延べ人数は400人に達しました。  
 小学校の先生や地域のボランティアの方のご協力に感謝致します。本当にありがとうございました。



### 火気の扱いに注意！

気づけば秋が到来しました。つい先日まで「連日猛暑」と気象予報士が話していましたが……。これからの季節は空気が乾燥します。火の取扱いには注意しましょう。マッチ一本火事のもと。

### お知らせ

### 菊川地区のカレンダーを作成しました。

菊川地区地域協育ネット協議会が菊川地区のカレンダーを作りました。  
 内容は、幼稚園、保育園、小学校、中学校、地区の各行事を記載したものです。  
 毎月上旬に左記の場所に設置していただきます。11月自由にお取のぞいてください。

### 【設置場所】

- 菊川公民館・小畑公民館・四熊公民館
- 菊川地区の郵便局・農協・サンマート
- (※菊川公民館に多く置いていきます)
- (※設置場所は変更の可能性があります)



徳山菊川郵便局とセブンイレブンの間にある藤本鮮魚店を取材しました。

藤本鮮魚店 藤本 京子 さん

—大変な事も多くありましたか？—

(藤) 昔は早朝に自転車で福川の市場に魚を仕入れに行っていたね。毎日暑い日も寒い日も、6箱分の魚を運んだよ。帰り道に政所の金物屋さんに寄って、氷をもらって、また箱に詰めて…本当に重くてね、よくもったと思うよ。今は車で徳山まで魚を仕入れに行くから、最初に車に乗った時は、すごく楽だったからね。

—藤本さんの楽しさは何ですか？—

(藤) お客さんの顔が見られることが楽しみだね。儲けは2番目くらい。来てくれるのは本当にありがたいね。それと子どもが下校時に手を振ってくれるよ。子どもはかわいよね。

—これから何を魚呢？—

(藤) これから秋はサマアとサバとマチと太刀魚がおいしくよ。



菊川地域の行事で、11月頃の支援活動で藤本さん。いつも笑顔の横顔が印象的でした。おいしい魚肉「ロッキー」がおいしいよ！

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部(菊川公民館内)までご連絡ください。

笑顔リレー



いちほちゃん(2才)



いきりくん(1才)



かまくん(7か月)

元気いっぱい大きくなってね!

これからも笑顔いっぱいいてね!

すくすく育ってね!

菊川 探訪

第22回 いちようの実

晩秋に、一面 地面が黄色くなる世界は素晴らしい。徳山や富田も、イチヨウ(公孫樹)の街路樹が美しく、黄色の世界は身近である。昔の徳山駅の前は、「無量寺」の大イチヨウがあつて、その「銀杏」「由来」「銀南街」の名が付けられたと言われている。

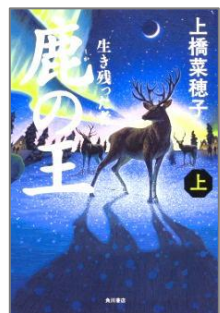
銀杏を拾ってイチヨウは、母である、旅立つ子として、銀杏がある。北風が吹く、一斉に黄色い葉が落ちて、銀杏と共、四方に舞い落ちる。この母の別れを電話したのが、高瀬賢治である、「高瀬賢治電話大全(講談社)」の第1話「いちようの実」が編集されている。電話に出て来る「肝っ玉かあさん」の様なイチヨウは、菊川の別所の「日吉神社」の境内にある。両手を天に突き出し、幹には子育てに苦労した樹皮があり、その樹皮から「ちち」がのびている。その樹皮は世界遺産の屋久島の「縄文杉」に似た風雨に耐える威厳がある。7月に境内を訪れると、新鮮な双葉のイチヨウの赤ちゃんが、おかあさんの周りに、無数 顔を出していた。

「日吉神社」は、山王信仰(山王とは、滋賀県大津市の日吉大社で祀られる神の別名であり、比叡山に鎮まる神を指したものである)に基づいて、全国に勧請・創建された。別所の「日吉神社も、近江国(滋賀県)から勧請された」と「都農野誌」に書かれ、現在の地元の「東」に、最初 鎮座したとも書かれている。「日吉大社」が、平安京の表鬼門の守護に位置づけられて、別所の「日吉神社」も、地元の人神だけに止まらず、上下地区全体の守護として存在していること想像される。孤高に直立するイチヨウの巨樹が、この神木として、更にその社殿を守っている。地域では御燈明の当番が行われ、大切に受け継がれている。秋の夜長に、賢治の電話を読み、星空に銀河鉄道が走り、「いちようの実」が北風のスイッチで、一瞬に舞う光景を想像してはどうか。



【日吉社内内のイチヨウ】 ↑ 【イチヨウの赤ちゃん】

☆本屋大賞1位☆



【読者感想抜粋】  
・極上のファンタジー作品。  
・おもしろいからページをめくる手が止まらない!  
・主人公の生き様に感銘。

『鹿の王(上・下)』

☆本屋大賞2位☆

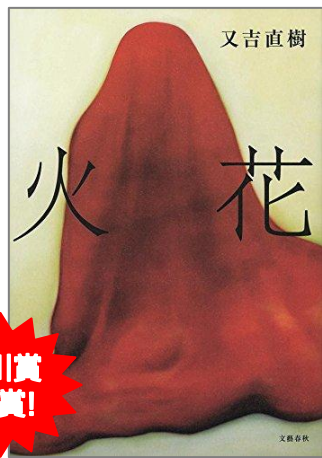


【読者感想抜粋】  
・悩みや迷いがふっきた!  
・人生を肯定する力強い小説。  
・非常に面白く、読後感はまだ満足。

『サラバ!(上・下)』

公民館文庫 新刊入荷!!

超話題作



『火花』



しろくまのパンツ



『だいきぎゅつぎゅつ』



『流』



『スクラップ・アンド・ビルド』